

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 施設番号  | 66-1206                |
| 施設名   | 社会福祉法人おひさま会東久留米おひさま保育園 |
| 施設所在地 | 東久留米市幸町1-21-14         |
| 法人名   | 社会福祉法人おひさま会            |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

環境 「身近な環境を知ろう」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
自然豊かな環境にある園の特性を活かし、園庭にビオトープを設置し、  
四季折々変化する自然環境に目を向ける切っ掛けを  
作りたい。その中で様々な事柄に気が付き、自ら知ろうとする探求心を育みたいと考え  
テーマとして設定した。

## 2. 活動スケジュール

2024・10・31 園庭工事終了  
2024・11～ バッタ広場・小道の解放  
2024・12・17 バッタ広場で基地作り  
2024・02・28 バッタ広場の線路

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

園庭工事を行い、虫や植物が育つ環境を設定した。剪定した枝などは廃棄せず、子どもが自由な発想で遊びに活かせるよう設置した。日々の園庭遊びに必要な砂場の砂も十分に補充した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

剪定を行った際の枝などもそのまま設置したところ、3歳児が線路に見立て遊びを広げる姿があった。それを乳児が真似る姿があり、園の特色である異年齢保育の良さが垣間見れた。5歳児は、枝を運び秘密基地を作成。子ども同士相談しながら作り上げていた「きれいな絵を飾りたい」と、ボスカを使い思い思いに絵を描いたり、枝の形に注目して色々な形があることに興味を持ち、園庭にあるたの木や草花に目を向ける切っ掛けとなった

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

秘密基地作成の活動では、園庭の剪定の際に出た枝を使用。ビオトープまで5歳児が運んだ太い木の重みを体感し「こんなに思いの？」と驚いて友だちに手伝いを頼む姿が見られた「一人じゃ持てないけどみんなならもてるね」と言い合い、達成感を感じている様子が感じられたまた、幼児の遊びを乳児が真似る姿も多く、ビオトープが異年齢での交流にとっても役立っている



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子ども自身が気が付き、知りたいと思う力は大きく意欲的に活動を行っていた  
保育者の言葉かけが時に子どもの考える力の成長に影響を及ぼすこともあると実感すること多くあり、言葉かけを見直す切っ掛けとなった。また、高尾山遠足や近隣河川の散歩の際、自然観察を積極的に行うことが出来るようになり、自然に対する興味を持てるようになった。